

ワイルドカードとその使用例

パターン検索, ワイルドカード検索とよばれるもので, 次の2つの特殊な記号 (ワイルドカード) を用いて行います

記号	意味	例	例の意味(検索結果)
?	任意の1文字	?g??s??c	8文字の単語で, 2文字目がg, 5文字目がs, 8文字目がcの単語 (agnostic, agrestic, egoistic...)
*	任意のn文字 (n ≥ 0)	*person	personで終わる単語 (person, adperson, chairperson, first person...)
		person*	personで始まる単語 (person, personal, personal computer...)
		Per*tion	perで始まり, tionで終わる単語 (perception, perfection...)
		person	personがどこかに含まれる単語 (person, personal, chairperson, supersonic...)
		?person?	personが語の途中で使われている単語 (chairpersonship, supersonic, impersonal...)
			※ person, personal, chairpersonなどが該当しない点注意

キーワードを関連づけるブール演算子(Boolean Operator)とその使用例

論理和(OR)のほかに、否定(NOT)などがあります。名前はともかく、下の表を参考に、各演算子の働きを実例とともに覚えてください。

演算子	意味	例(解釈)	検索結果(抜粋)
AND	xとyの両方を含む	freelance AND photographer (フリーのカメラマン)	paparazzo
OR	xとyのいずれかを含む	vegetable OR fruit (野菜か果物)	acerola, apple, apricot, broccoli...
NOT	xを含むがyは含まない	snake NOT venomous (無毒のヘビ)	anaconda, constrictor, green snake...